

平成 2 8 年 第 8 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平成 2 8 年 8 月 5 日

平成28年第8回教育委員会定例会会議録

平成28年8月5日（金）

出席者（5名）

教育長 高部 明夫
委員 角田 徹
委員 高橋 京子

委員 池田 清貴
委員 須藤 金一

欠席者（0名）

出席説明員

教育部長・調整担当部長

伊藤 幸寛

総務課長

高松 真也

学務課教育支援担当課長・指導課支
援教育担当課長・総合教育相談室長

田中 容子

指導課教育施策担当課長

木下 英典

生涯学習課長

古谷 一祐

総合スポーツセンター建設推進室

総務担当課長

向井 研一

三鷹図書館長

田中 博文

生涯学習担当部長

宇山 陽子

学務課長

桑名 茂

指導課長

宮崎 倉太郎

指導課教職員担当課長

田中 通世

スポーツ振興課長・総合スポーツセンター

建設推進室長

室谷 浩一

社会教育会館長

新名 清人

事務局職員

副参事

本村 建二郎

主事

大塚 俊介

平成28年第8回教育委員会定例会

議 事 日 程

平成28年8月5日（金）午後1時開議

- 日程第1 議案第38号 平成29年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について
- 日程第2 議案第39号 三鷹市スポーツ推進委員の委嘱について
- 日程第3 教育長報告
- 日程第4 議案第40号 職員の休職に係る臨時代理の承認について

午後 1時01分 開会

- 高部教育長 ただいまから平成28年第8回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録署名委員は、須藤委員にお願いいたします。
それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

日程第1 議案第38号 平成29年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択について

- 高部教育長 日程第1 議案第38号を議題といたします。

(書記朗読)

- 高部教育長 提案理由の説明をお願いします。

○宮崎指導課長 議案書の3ページをごらんください。こちらにございますとおり、平成29年度、来年度、三鷹市立小学校、それから中学校、及び教育支援学級において使用する教科用図書について、別紙のとおり採択するという議案でございます。

採択する教科用図書なんですけれども、4ページに小学校、そして5ページに中学校の教科用図書をお示ししております。これらにつきましては、まず小学校については平成27年度から、それから中学校については今年度、平成28年度から使用しているもので、それぞれの前年度に採択いただいたところでございます。法令によって4年間同一の教科用図書を使用することになっておりますので、小学校については昨年度と同様、中学校については今年度からということになってございます。

続いて、6ページをごらんください。こちらは、小学校、中学校の教育支援学級用の教科用図書に関する事項でございます。教育支援学級の教科用図書につきましては、文部科学省検定済み教科用図書を使用するか、または文部科学省著作教科用図書を使用することが適当でないとき、一般図書を教科用図書として使用することになっております。三鷹市におきましては、別添の、参考資料という1枚のA4の紙があるかと思っております。これで説明をさせていただきますけれども、教育支援学級（固定制）設置の小・中学校の校長10名、それから保護者の代表が小学校2名、中学校2名の4名、合わせて14名の選定資料作成委員の方で構成する選定資料作成委員会、採択にあたる資料を作成する委員会をこのような形で実施しております。今年度につきましては、上のほうの6月13日、それから下のほうの7月8日に委員会を開催いたしまして、調査研究を行ってまいりました。調査研究の結果としては、全ての教科用図書について、現在使用している教科用図書を使用することで支障はないという報告をいただいております。つまり、先ほど小学校、中学校、それぞれお示しした一覧になっている検定教科書を使用することで支障はないという報告をいただいているところでございます。したがって、今回の議案といたしましては、文部科学省の検定を経た教科用図書を使用する、つまり、通常の学級と同じ教科用図書を使用するという議案になっております。

そして、7ページにつきましては、教科用図書の採択に関する根拠法令を示させていただきます。

議案の説明については以上でございます。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。高橋委員。

○高橋委員 改めて聞くまでもないと思うんですけども、これは小・中のつながりを考えた上での選択でもあったということで理解してよろしいでしょうか。

○高部教育長 指導課長。

○宮崎指導課長 おっしゃるとおりでございます。やはり、会議の中でも小・中一貫の視点というものが何回も出てまいりました。そのような視点も含めてこのような結果という形になっております。

○高橋委員 ありがとうございます。

○高部教育長 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。ほかにご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第38号 平成29年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択につきましては、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第39号 三鷹市スポーツ推進委員の委嘱について

○高部教育長 日程第2 議案第39号を議題とします。

(書記朗読)

○高部教育長 提案理由の説明をお願いいたします。スポーツ振興課長。

○室谷スポーツ振興課長 お手元の資料の9ページをごらんいただけますでしょうか。今の任期のスポーツ推進委員は4月1日に委嘱しているところですが、今回、任期途中での追加の委嘱ということになります。

委嘱年月日は8月5日、本日とさせていただきますと考えております。

任期につきましては残任期間ということで、平成30年3月末までとさせていただきます。おります。

そして、今回の候補者は1名なんですけれども、こちらは記載のとおり、米屋清史さん、男性、出生年は昭和59年、三鷹市新川に在住の、現在31歳の方でございます。

今回の議案に至る経緯としましては、次の10ページでございます現任のスポーツ推進委員の皆さんから推薦があったことをきっかけに、私どものほうで面談、そしてこの制度の説明を行いまして、市民スポーツの推進についての理解と関心を非常に示されて、スポーツを通じた地域貢献に意欲を示されております。特に今のところ、地域での活動、あるいは既存の団体での活動実績はないんですが、今後、大きなスポーツイベント等も見据えて地域貢献をしたいという意欲を強く感じまして、今回議案として提案させていただいているものです。

参考までに、11ページの参考法令で、下段の規則のほうなんですけれども、こちらの第4条に、委員の定数は30人以内とするとさせていただきます。現在スポーツ推

進委員に委嘱している委員は24人ということで、まだ定数に達していない部分もございますので、今後スポーツ推進活動を拡充していくために、25人目の委員として今回お諮りするものです。

私からの説明は以上でございます。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。高橋委員。

○高橋委員 この選出に当たっては、地域や年齢や種目のバランス等を考えての選出なんでしょうか。特に全くそれは関係ないものなんでしょうか。

○室谷スポーツ振興課長 いや、やはりそちらを考慮しております。現在24人の委員は、男女比ですと12対12で、ちょうど1対1なんですけれども、ただ、そうすると土曜、日曜のイベントなどの参加は、男性の場合、お仕事の関係などで、どうしても女性中心になる傾向がございます。そういう中では、今回この米屋さんは31歳で、今後土日に控えているイベントなどにも非常に高い意欲を示されておりまして、そういったことも総合的に勘案しながらということになります。

あとこの方は、趣味としましてはフットサルをたしなまれているんですけれども、そういった自分自身の種目なども勘案して、総合的な見地から候補者とさせていただいております。

○高橋委員 ありがとうございます。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。

ほかにご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第39号 三鷹市スポーツ推進委員の委嘱については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第3 教育長報告

○高部教育長 引き続き、日程第3 教育長報告に入ります。

それでは、私のほうから1点、ご報告をさせていただきます。お手元に全国コミュニティ・スクール研究大会のパンフレットがございますので、ごらんいただければと思います。

今年度は7月29日に秋田県の由利本荘市で開催されました。文部科学省からも企画官、あるいは参事官補佐が出席され、そして連絡協議会が前日、28日にごございましたけれども、そのときに文科大臣補佐官の鈴木寛さんも見えまして、国としてもさらにコミュニティ・スクールを進めていくという話もされたところです。

お手元のパンフレットにありますように、事業そのものは分科会での実践発表ですとか基調講演、それからパネルディスカッション等々ございました。貝ノ瀬さんもコーディネーターとして参加されたんですが、全体を簡潔にご報告しますと、コミュニティ・スクールと一口に言っても、全国で見るとさまざまなスタイルがあります。今回会場になった秋田県とか、周辺の富山県とか岩手県の報告もあって、いつもいわゆる地方の大会で感じる

ことは、地方には代々住まわれている定着型の住民が多くて、三鷹市はかなり移動性というか、変動性が高い土地の事情なんですけど、それと比べると、地方の方はやっぱり郷土意識が強い。それからやはり、おらが学校という意識が、自分たちが卒業していますから、そういう意味では地域の健全育成組織もしっかりしていますし、学校に対して協力的だなというも感じています。

それに加えて、今、少子高齢化で、地方が衰退するのではという不安も生じているところですから、やっぱり地域の担い手づくりを皆さんが真剣に考えているという。そこで行われるのが、例えばふるさと教育とか、職場体験とか、地域の人が学校に入ってくる機会が非常に多くなっている。その中で産業ですとか観光ですとか、あるいは伝統・文化・芸能ですとか、そういう活動が非常に盛んになっているという実践例が多くありました。そこには学校の統廃合の問題が見え隠れしていたり、ですから小・中一貫を一緒にやったりとか、あるいは人材育成を、市を挙げて社会教育と一緒にやったりとか、実際にこの由利本荘市の会場も公民館が併設されている公会堂だったんです。そういった、いろいろな地域の特殊性がありました。

改めて、三鷹市の教育長として、三鷹の強みというのを考えたんですけども、これは、もちろん三鷹もキャリア・アントレとか郷土教育とか防災教育をやっていますが、それを一つの仕組みとして整える、大きく言えばマネジメント、ガバナンスという視点が三鷹はしっかりしているなど。つまり、例えば熟議をやって保護者や地域の意見を反映しましょうとか、あるいは学校評価、学園評価をきちんとやって、その学校運営を改善していこう、PDCAで回していましょうとか、広報活動をやって、絶えず一般の市民に、保護者に理解を求めていこうという、そういう動かすための仕組みが、三鷹は一日の長があるかなと思っています。

実は、文部科学省もいろいろなリーフレット、パンフレットを出しているんですけども、その中を見ても、「熟議・協働・マネジメント」という三つの柱がきちんと出ているんです。要するに、支援、協力だけじゃなくて、きちんと熟議しましょう、協働しましょう、マネジメントしましょうという。ですから、そう言うては手前みそなんですけど、三鷹スタイルというのは、文科省が認知した本流のモデルではないかと思っていますので、今回にしみたか学園は10周年を迎えますけれども、一方でこれまでの経験や自信と、それから、他方ではいろいろなプロセスやアプローチがあってもいいという中でコミュニティ・スクールを全国で広げていくということも、その認知度を高めていくメリットが三鷹にもありますから、お互いに一緒に進めていきたいと思いますというスタンスで臨んでいきたいなという感想を持ったところでございます。

以上です。

それでは、各課報告をお願いします。総務課長。

○高松総務課長　総務課でございます。資料の13ページ、14ページをごらんください。まず左側、13ページの実績等報告でございますが、一番最後の行、8月4日、昨日ですけれども、東京都市町村教育委員会連合会の研修推進委員会が東京自治会館で開催されまして、高橋委員にご出席いただいたところでございます。ありがとうございました。

右側、14ページの予定等報告についてでございます。本日ですが、この定例会の後、平成28年度第1回総合教育会議を予定しております。また、2段目ですけれども、8月8日に市議会の文教委員会が開催されます。今回は、7月の定例会でお諮りをしました教育に関する事務の点検・評価（平成27年度分）と、平成27年度に発生した市立小・中学校における体罰等の実態についてという2件につきまして、行政報告として行う予定でございます。また、8月28日、下から2段目ですが、本年度2号目となります広報紙『みたかの教育』を発行いたします。現在編集作業中でございますけれども、1面では学校教育におけます特色ある取り組みについて、オリンピック・パラリンピック教育推進校など、6月の補正予算で計上しました事業も含めて掲載をするとともに、教育委員さんのコラムにつきまして、高橋委員にお願いをしているところでございます。

その他につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、15ページ、16ページをお開きください。教育センターと施設係関係の実績・予定等報告になります。主な設計、工事関係につきましては、記載のとおり実施をしているところでございます。右側、16ページの下段、8月22日ですけれども、教育センターにおきまして、教員向けの情報セキュリティ研修を予定しているところでございます。

総務課からは以上です。

○高部教育長 それでは学務課、お願いします。

○桑名学務課長 学務課でございます。17ページをごらんください。17ページの実績でございますが、上から4段目、7月5日から8日にかけて学校給食の放射性物質検査を行っております。検査方法はこれまでと同様の方法となりますが、児童・生徒に提供した学校給食丸ごと1食を検査機関に依頼して検査をしております。検査は1学期と2学期に分けて実施をいたします。7月に実施をした13校の結果が出ておまして、いずれも放射性物質は検出されませんでした。2学期に残りの9校を行う予定としております。

その下段、7月11日、第1回学校給食運営委員会を開催しました。学校給食の充実に向けて、学校長、学校栄養職員、PTA代表、保健所、教育委員会事務局で構成をしております委員会で、安全で良質な食材を給食に提供できるように、納入業者や食材の登録事務、食材の安全管理、納入業者への安全・衛生指導、代金の支払いなどの業務を行っております。今回は、パン委託工場の再指定について経過報告を行うとともに、新たな事業者2社の選定を行いまして、2学期以降の再開に向けて準備を進めております。

そのほかについては記載のとおりでございます。学務課からは以上でございます。

○高部教育長 次、指導課、お願いします。

○宮崎指導課長 指導課長です。19ページからごらんください。7月1日までに小学校自然教室、東三鷹学園が最後で実施をいたしました。これで今年度の自然教室は、小学校のほうは終了となります。2学期に予定している学校はございません。

そして、7日ですけれども、東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査、これは小学校5年生4教科、そして中学校2年生で5教科という形、それとともに質問紙調査という形で実施しております。適正に実施をされました。

そして、21日からいわゆる夏休みが始まっていますが、ここで大分社会的に話題になっていますスマートフォンによるゲームによる、さまざまな話題が来ております。東京都からも間接的な形で通知が来ましたが、三鷹の場合ははっきりと商品名も上げながら、危険のないようにということで指導をしています。従来から情報モラルにかかわるリーフレットを活用したりしているところですが、夏休み期間とは言いながらも、中学校であれば部活動ですとか、子どもたちであれば水泳ですとか、さまざまな形で学校に来る子も多いですので、その機会を捉えて指導してほしいということで注意書きをしているところです。

それから、27日にいじめ問題対策協議会、今年度初めてのいじめ問題対策協議会が実施されました。事務局案として、いじめの基本方針のより一層の改善に向けた提言と申しますか、そういうものをお示しさせていただいたところでございます。

それから、8月3日から今日まで、今日の夕方帰ってまいりますけれども、初任者の宿泊研修を実施しています。私は1日早く帰ってまいりましたが、今日は、大きなテーマである、グループごとなんです、自分たちの考えるよい授業というものを具体的にイメージした模擬授業的なものを午前中にやっております。そのための協議までは見てまいりましたが、まずは三鷹市のスタンダード（学校版）の要素を必ず入れてくる。それから、よい授業のイメージの中には、やはりアクティブラーニングという視点はそれぞれの初任者のグループに入っております、それを具現化した形の授業の提案が今日なされているかなと思います。また、小・中一貫という視点では、小・中学校合わせたグループにしていますが、例えば今日の模擬授業でも、小学校の指導案なんだけれども、中学校の教員がそれを実際授業者として提案するというグループもありまして、非常に充実した協議がなされていたところで、ぜひ2学期これを生かしてもらいたいなと思っています。

20ページ、これからのことについては、記載のとおりでございます。この後、木下担当課長のほうから報告いたします。

○高部教育長 木下教育施策担当課長。

○木下指導課教育施策担当課長 それでは、にしみたか学園の開園10周年事業の概要について報告させていただきます。日時は10月26日水曜日、午後2時開式の予定でございます。参加児童・生徒につきましては、第二小学校、井口小学校の6年生及び第二中学校の3年生ということで、約400人の児童・生徒の参加になっております。それに加え教職員が約100名程度。あと招待者については200名程度という形の会になろうかと思っております。

第1部は式典として90分間とってございます。その中で、学園のプレゼンとして、仮称ですけれども、「10年、そして未来へ」というところでプレゼンを予定しているところでございます。プレゼンの後には、児童・生徒の言葉及びCS会長の言葉が入る予定でございます。

そして、第2部の講演につきましては、日本大学教授の佐藤晴雄先生の講演を予定しております。「学校と地域でつくる学校の未来」という題で講演をいただく予定になっております。

終了が4時45分という予定でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○高部教育長　それでは次、生涯学習課、お願いします。

○古谷生涯学習課長　生涯学習課、21ページをお開きください。事業の実績でございます。上から2段目、7月6日に公立学校PTA連合会学園訪問を実施いたしました。今年にはしみたか学園の二小、二中を訪問しております。毎年、PTAの方が自分の学校の状況と比較しながら、ほかの学園や学校を訪問していただいているところです。

それ以外は記載のとおりでございます。

22ページ、予定でございます。8月9日から9月4日にかけて、発掘調査の速報展を図書館本館で実施する予定でございます。昨年度から今年度にかけて、井の頭池遺跡群Aにつきまして、老人ホームをつくるという開発事例がございまして、その発掘調査の速報展を実施するものでございます。

また、8月23日、下から2段目でございますけれども、来年度の成人式に向けた第1回の成人式実行委員会を実施する予定でございます。

その他は記載のとおりでございます。

○高部教育長　それではスポーツ振興課、お願いします。

○室谷スポーツ振興課長　資料の23ページ、24ページをごらんいただけますでしょうか。まず実績等報告でございますが、上から5段目、7月10日、三鷹愛馬の日、そして一つ飛ばしまして、7月19日、馬から学ぶオリンピック・パラリンピックということで、こちらは東京都のオリパラの補助金を活用した馬術競技の普及啓発事業をそれぞれの会場で実施しております。

そして、下から3段目、7月22日金曜日、スポーツ推進審議会を実施しておりまして、こちらは今期5月に委嘱をさせていただいたんですけれども、今期の課題としましては、スポーツボランティアの育成と支援の仕組みづくりについての提言をまとめていただくということを主眼に、各委員さん、会長を中心に確認をしたところです。

次に24ページの今後の予定なんですが、8月22日、今回第66回目を迎えます三鷹市市民体育祭スポーツ大会の開会式を第一体育館で行う予定となっております。

そのほかは、こちらに記載のとおりでございます。

スポーツ振興課からは以上です。

○高部教育長　総合スポーツセンター建設推進室はよろしいですか。

○向井総合スポーツセンター建設推進室総務担当課長　ございません。

○高部教育長　わかりました。次に社会教育会館、お願いします。

○新名社会教育会館長　社会教育会館でございます。25ページ、26ページをごらんください。

実績でございますけれども、冒頭の、7月4日から平成29年度市民大学総合コース企画委員募集ということで、今、募集中でございます。こちらは来年度の市民大学総合コースの企画に携わる市民委員を募集するという取り組みでございます。

あとは記載のとおりではございますが、夏休みということもございまして、青少年体験学習講座を、本館及び東西館で展開させていただいております。

社会教育会館は以上でございます。

○高部教育長 図書館、お願いします。

○田中三鷹図書館長 図書館でございます。27ページをごらんください。7月、8月については、図書館では多種多様なイベントを開催させていただいております。イベントですと、「第4回中高生にオススメ！POP大賞」の応募を今、実施しているところです。7月17日の日曜日には家庭での読み聞かせ講座「おうちで絵本！」、また、30日土曜日には親子向け講座、「納涼！しめかざり講座～日本のおめでたい形～」を開催しております。また、8月2日は「POPの書き方講座」、4日木曜日には、みたかとしょかん図書部！が企画をしました、都立中央図書館見学に行こうということで、みたかとしょかん図書部！企画では、初めての図書館外の活動を開催したところでございます。

また、7月については、全館で選挙啓発として、選挙に行こうと題してコーナーを設置しました。こちらは70年ぶりに選挙権年齢が18歳に引き下げられ、初の選挙となります参議院選挙、また東京都知事選挙が行われることから、図書館でも選挙啓発として、選挙の仕組みであったり、政治・国会の仕組みなどの関連の本を展示・貸し出しをしたところでございます。

また、今後の予定ですが、8月9日火曜日に科学あそびを、午前中は南部図書館、午後は東部図書館で開催させていただきます。また、8月5日、今日から毎週金曜日、三鷹図書館サポーターの本の修理屋さんのグループで、小学生限定で対象にした「本の修理に挑戦！～本の修理屋さんに教えてもらおう～」ということで、本の修理、また、物を大切にすることを養うということで、サポーター主催で活動を開始しております。

また、最後に8月6日土曜日、明日からですが、お手元にお配りしたこちらのチラシがございますが、こちらを見ていただければと思います。8月、9月、10月合計4回で開催させていただき、「わん！だふる読書体験」という事業を図書館のほうで開催させていただきます。こちらは、公益社団法人日本動物病院協会、JAHAのご協力、また、三鷹市立図書館協議会委員のノンフィクション絵本作家でございます大塚敦子さんのご協力により開催をするものでございます。こちらは、JAHAがふだん特別支援学級での読書介助犬活動や学校や児童館、高齢者の施設、病院などで動物を連れていって、人と動物の触れ合い活動を続けている事業を、今回、公立図書館で初めて開催させていただきましてでございます。

まず明日はふれあい教室ということで、犬との触れ合い方を学び、9月3日、9月17日、10月1日に、子どもが犬に本を読み聞かせするという、右側に写真がございますが、このように犬に本を読み聞かせさせていただき事業になっております。こちらは欧米でよく読書介助犬の活動が展開されているんですが、まだ日本ではそれほど知られていないところ、公立図書館のほうからも発信をしながら、また、図書館としては新しい読書の楽しみ方を提供できればということで開催させていただきます。

以上でございます。

○高部教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。

角田委員。

○角田委員 19ページの指導課について、これは以前にもご説明いただいたかもしれませんが、初任者宿泊研修のことで伺います。これは何人ぐらいご参加なのかと、それと、初任者という結局、新規に教員になった人と、ほかから三鷹に入ってきた人も含まれるんですか。

○宮崎指導課長 まず、初任者というのは、あくまでも新規採用教員というのが原則です。今年度に新規採用教員として正式に採用されたもの、それから、昨年度期限つきで任用されて、引き続き今年度が正式な新規となったものを加えて、本年度は33名の参加がありました。

今回のテーマはよい授業、自分たちの考えるよい授業というものを考えていこうということです。ただ漠然と考えても抽象論になってしまいますので、4人のグループをつくりまして、そのグループの中で、具体的には模擬授業を提案する。それから2学期に研究授業を行うケースがあるんですけども、その授業者を決めて、検討をするとしています。

グループ協議の時間を大分とったんですけども、その前段階として私の話もありましたし、統括指導主事のほうからは三鷹のスタンダードについて具体的に説明といえますか、演習も含めた内容でしたり、それから清水参与のほうからも授業づくりのアイデアで、特によかったのは、参与のほうでは1学期に初任者及び二、三年次の授業をたくさん見ているんですが、そのときの写真なんかを使いながら、教室の環境だとか、教員としてのまなざしだとか、支援の仕方だとかを、写真を入れながらこういうところがとってもよかったですねという、目に見える形の具体的なよい授業というイメージが持てるような提案をした上で、自分たちはグループとしてどういうよい授業をしていくのかということをやっています。

指導案をつくりまして、今日の午前中が発表の場になっていまして、自分たちを児童・生徒に見立てて、授業者が授業をする、質疑応答していくという形が大きなところです。

○高橋委員 いいですか。そうすると、少なくともその人たちは、この1学期は既にもう授業をやっているということですか。それを、振り返りを含めて、いろいろなことに気づいていただくということですか。

○宮崎指導課長 そうですね、はい。

○角田委員 それによって、2学期から、意識づけを含めて変わる事例が、あるのでしょうか。

○宮崎指導課長 そうですね、やはり個々に、全部課題が一律ということではなくて、同じ初任者でも既に教職経験がある者もいれば、ほんとうに新卒という者もいますので、それぞれの課題があるので、やっぱりいろいろな立場の者がいるということが逆にいい方向で働いていると思うんです。ですから、視野が広がったり、学ぶ姿勢という点についてもできている者がいるので、例年、確かに伸びたなという者がおります。ただ、初任研が、宿泊研があって伸びたのかどうかというところについては、何とも分析ができませんけれども、そういう印象を持つ初任者はいますので、また2学期以降楽しみにしたいなと思っています。

○角田委員 ありがとうございます。

○高部教育長　これは、川上郷自然の村で、いわゆる合宿方式ですよ。終日、指導主事が横にいてできるわけで、もちろん全ての時間研修だけしているわけではないんですけども、時間外においても、いろいろな身近な相談を指導主事にすることもできる機会ですよ。そういう意味では、非常に濃密な3日間だと思いますので。田中課長は何か補足ありますか。

○田中指導課教職員担当課長　今年度は初任者37名配置いたしました。先ほど指導課長が初任研は33名と言いましたが、37名のうちの3名は他県で初任者研修を既に済ませてきて東京都に初めて採用されたという者がおりますので、その3名と、別の研修プログラムとなっている養護教諭1名は宿泊には参加しておりません。

○高部教育長　よろしいですか。

○角田委員　はい。

○高部教育長　ほかにいかがでしょうか。高橋委員。

○高橋委員　先ほどお話にあった、パンの業者が変わるということで、やっぱりこれは大きなことだと思うんですけども、結局何が問題であったのか、そこから学ぶべきこと、次に生かすべきことは何だったのかを教えてくださいませんか。

○高部教育長　学務課長。

○桑名学務課長　パンの業者につきましては、昨年度、小動物がパンのケースの中にあられたような経過がありまして、しばらく供給を停止しておりました。その後、3月以降に再開をしたのですが、異物の混入の事案が幾つか見られたということがありまして、そのたびに指導等も行ってきたんですが、複数回行ったところで、事業者のほうとしても三鷹市に、継続して今後迷惑をかけられないというところもありまして、委託をしているのが東京都の公益財団法人の東京都学校給食会なんですが、そちらとも協議をして、年度途中で、過去にこういった事例はないんですが、事業者の変更ということで新たな選定をさせていただいたところですよ。

昨年来の事故もありまして、パンに限らず、検品の体制であったり対応であったりというところを、方針的なものをまとめるというところで、現在、案を栄養士につくらせていただいて、今後の対応といった部分については、それに基づいて三鷹市として対応していこうというところを今検討しているところです。

以上になります。

○高部教育長　よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。須藤委員。

○須藤委員　スポーツ振興課のところ、馬から学ぶオリンピック・パラリンピックということなんですが、これは実際どういうことをされたのか。これもやはりオリンピック・パラリンピック教育の一環として行われたということでしょうか。

○高部教育長　スポーツ振興課長。

○室谷スポーツ振興課長　まず、二つ事業を今回行っているんですけども、10日の三鷹愛馬の日につきましては、三鷹市民の親子を対象にして募集をかけまして、40人の参加をいただきまして、まず初めにこちらの東京大学の馬術部の馬場で模範演技、触れ合い体験、餌やり体験を行いまして、その後、近くにあります特別養護老人ホームのどんぐ

り山をお借りしまして、そこで今度は講座形式で、オリンピックの歴史、馬術競技の歴史、そして会場案内ですとか、東京スタジアムが会場になっていること、そして馬の特性ですとか、馬に関する講義を行ったという内容になっております。

そして、19日の馬から学ぶオリンピック・パラリンピック、これは第一小学校の3年生の全児童を対象にしまして、授業の一環として、オリンピックの啓発の教育という位置づけで、校長先生、もしくは担当主任の3年生の先生と事前の準備の協議を行いまして、授業の中で全員に乗馬体験、先ほどと似たような内容なんですけど、これをさらに9月、10月、そして翌年の2月と全4回コースで授業の中で実施することで準備を進めているところです。

以上です。

○高部教育長　ほかにいかがでしょうか。池田委員。

○池田委員　図書館のところで、選挙権が18歳以上になって、それに向けて書物を集めてコーナーを設置したという話があったと思うんですが、その評判とといいますか、非常に評判がよくていろいろな問い合わせが来たとか、そのあたりはございますか。

○高部教育長　図書館長。

○田中三鷹図書館長　通常、コーナーを設置するのは本館だけなんですけれども、今回は全館で取り組んでいこうということで、本を乗せるブックトラックという台なんですけど、こちらにパネル等を少しご用意させていただいて、選挙の仕組みとか、政治、国会の仕組みとか、特にヤングアダルトという18歳から20歳ぐらいの方をメインにしながらか案内をさせていただいたところなんですけど、ふだんはあまり、なかなか政治とか国会の仕組みの本というのは、書架にあると動かないんですけれども、実際にコーナーがあって、ポスターとかパネルを少し用意すると、本の貸し出しの回数も大分増えていて、少し人が立ちどまって、手にとって、興味をもって、それを借りられていくという姿が多く見られたというのは各館から報告をいただいているところです。

○池田委員　ありがとうございます。

○高部教育長　三鷹中等教育学校とか選挙管理委員会と連携しながら主権者教育というのは時々聞きますけれども、大成高校とか、市内にも幾つか高校がありますから、そういうところから図書館に対して何か連携、協力してほしいという話は特にはないですか。

○田中三鷹図書館長　特に今回はなかったんですが、選挙管理委員会からはポスターなどを通常より多く、またチラシ等も少しいただいたというところでは、選挙管理委員会からもご協力をいただいて、選挙管理委員会と連携した形でのコーナー設置ということでは一定程度成果があったのかなと認識しております。

○高部教育長　よろしいですか。

○池田委員　はい。

○角田委員　よろしいですか。ちょっと関連して。やっぱり若い世代を含めて、国のつくりとか、政治の仕組みとか、どうやって民意を生かすかということをしちっと知らせるのが重要だと思うし、今回一つの大きな契機で、いろいろな場面において政治に参加しようということは非常に重要だと思うんです。

お伺いしたいのは、全体として、たしか7月10日の選挙は、今回の18、19歳の人たちの投票率は40%台だということを聞いたんですが、三鷹ではどうだったのかわかりますか。

○高部教育長 情報を誰か知っていますかね。何もしなければさらに下がったのか、今回いろいろな主権者教育とかをやったためにどの程度影響があったのか、分析はかなり難しいところがあると思うんですけどね。

○角田委員 効果に対しては難しいです。ただ、三鷹の若い人がどのぐらい意識を持っているかの全国との比較という面では、結構重要じゃないかなと思うんですよ。

○高部教育長 それでは、選管のほうから数字や情報を得て、また次回報告してみてください。

○角田委員 あともう1点いいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ。

○角田委員 都立の中央図書館の見学には何名ぐらい行って、どのぐらいの年齢層がいたか、大体わかれば伺いたいのと、もう一つは、全く別ですが、わんちゃんのわん！だふるというこの読書体験ですね。これは大変、実は動物と人間と一緒に生活する、世界的にはワンヘルスという形で、人も動物も同じ病気にかかったり、同じ社会や地球をつくっていくという概念が広まりつつあるんです。ですから、例えば日本でも、高齢者がペットを飼っていると、すごくADLというか、生活の質が保たれたり、健康寿命が長引くというデータが実際出ているんです。ですから、大変こういったものは重要だと思うんですけども、読書介助犬という、傾聴犬というんですかね、こういうのを初めて聞いたんですが、これは結局、人が言うことを理解しているとは思えないんですが、じつとこうやって聞くというしつけをされている犬なんですか。

○高部教育長 図書館長。

○田中三鷹図書館長 都立中央図書館の見学については、申し込みは8人で、当日体調の関係でキャンセルがあって6人で、あと職員が行きましたので、8人という形です。ちょっと人数は少なかったんですが、当然館内を説明いただく以外に、本の修理を専門的にしている部署というのは今、公立図書館としては東京都立図書館しかないもので、東日本大震災で貴重な資料等を、都立図書館でお預かりして修理をしている風景も見させていただいて、そのあたりでは、本の好きな子どもたちは大変勉強になったのかなと報告を受けております。中高生ですので、中学・高校生以外の方の申し込みは今回はなかったんですが、また今後については、各学校の学校図書館や図書クラブとかに直接的に呼びかけて、もう少し人数を多くしていきたいなと感じております。

読書介助犬については、基本的にはボランティアの活動にはなるんですが、しっかりと訓練を受けている犬で、実際に読み聞かせを犬にしても、犬は当然言葉がわかるわけでもなく、絵を見て楽しむわけでもないんですが、セラピー効果を期待しているもので、特に活字を苦手に行っている子とか、このJ AHAの紹介にもありますが、特別支援学級等で学習効果を上げていくという観点から、海外では特に積極的に展開をしているようです。J AHAではこれ以外にも高齢者の施設で、犬だけではなく、動物と触れ合うことによ

て、精神的にと心理的にセラピー効果を上げていくということから、今、展開をしております。

今回、図書館でもいろいろな事業を展開していくんですが、大塚敦子さんからも、ぜひ公立図書館でもこのような活動をして、新しい読書の楽しみ方というものを展開してみてもどうかというところから、今回、訓練を受けていて、しかも半年に1回はメディカルチェックを受けて、過去にアレルギー等のトラブルになった事例もないということも聞いておりますので、安心して参加いただけるかと思ってこの事業を開催しているところでございます。

○角田委員 ありがとうございます。

○高部教育長 先ほどの馬のほうもホースセラピーと、協会のほうは一定の効果があると言われていて、それはそれで科学的、学問的にどうかというのは研究課題なんですけど、一つの試みとして、触れ合いとして、子どもがコミュニケーションをとるきっかけになるとか、学校も今ウサギとかいろいろな小動物を飼っていて、小動物との触れ合いの中で自分を高めるという教育もされていますので、一つの試みとしてやりたいという話かと思えます。

ほかに。高橋委員。

○高橋委員 先ほど、青少年体験学習講座のお話をされていましたが、これも、参加はどのような人数だったんでしょうか。

○高部教育長 26ページですね。社会教育会館長。

○新名社会教育会館長 青少年体験学習事業でございますが、それぞれ各館、あと各事業の内容によりまして、参加人数について区別をしておりますけれども、おおむね、例えばこの7月26日、27日の東館の科学教室というものであれば、午前の部、午後の部と分かれておりますが、それぞれ20人ほど参加しているということになっております。

あと、親子でご参加いただく事業等もございますが、本館の「つくってあそぼう！ 親子昔遊び講座」などは16組の募集で、それを上回る応募がありましたので、16組でご体験いただいたところです。

○高部教育長 よろしいですか。

○高橋委員 とても魅力的な取り組みを、先ほどの図書館もそうですが、されているんですけども、結局それに来てくれないと伝わらないものがありますよね。どういうふうにしてそこに人を動員させるかというのが、ただチラシを配ったり広報に載せているだけではなかなかうまく行かないところがあるかと思うので、そのあたり、せつかくのところ学ぶ機会が開いていくわけだから、ぜひ多くの方に興味を持っていただけるような広報というか、方法があるといいなと思っていて、わかったらそれも教えていただきたいと思えます。

あと、もう1点、にしみたか学園の式典ですが、式典があるということは、それなりに意味があると思っていますんですけども、10年というのは、相当長い期間にわたって真剣な努力を三鷹はしてきたわけで、その検証という意味で、取り組む内容も私の期待しているところなんです。あのときの1期生の子どもも、もうかなり成長しているわけです。

その姿の中に、小・中一貫がどんな効果を上げていたのかを私は知りたいと思っているのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

○高部教育長 では、まず、社会教育会館は、周知方法は何か工夫しているところがありますか、児童館とか中学校に。

○新名社会教育会館長 周知方法につきましては、ご指摘いただいたとおり、広報とホームページと、あとはやはり本館につきましても東西館につきましても、近隣の、比較的近い学校を中心に児童の方に全部行き渡るような数量でのチラシの配布をさせていただきましたので、事後でアンケートをとりましたけれども、学校のその配布されたチラシで情報を得て申し込んだというアンケート結果もいただいています。

○高部教育長 にしみたかのほうは、記念誌のことも含めて説明してください。

○木下指導課教育施策担当課長 はい。10年間の検証ですけれども、先ほど、第1部の式典のプレゼンというところで25分間とってありますので、その中で触れていただくということ、にしみたかのほうにはお願いしております。また、記念誌の中で、卒業生よりということ、開園当時の生徒の声なんかも入れてほしいということで要望しておりますので、その中で触れていただけたらと思っております。

○高部教育長 補足しますと、式典の中では、当然主催の学園長の言葉、それから教育委員会を代表して、教育長の告辞というのもあります。その中で、スタートした狙いとか、10年でどこまで来たのか、何が課題なのかということも簡単に整理させていただきますし、記念誌の中も、当時の関係者の声だけじゃなくて、やっぱりこの間の変化を示すデータとか、それから活動のビジュアルな中身も含めて、コンパクトでありますけれども、その歩みが辿れるようなものにしていきたいと思っております。

ほかはいかがでしょう。なければ、日程第3 教育長報告を終わります。

日程第4 議案第40号 職員の休職に係る臨時代理の承認について

○高部教育長 委員の皆様にお諮りをいたします。

日程第4 議案第40号につきましては、人事案件のため、秘密会で審議したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ご異議なしと認めます。よって、秘密会を開くことに決定いたしました。

この際、議事の都合により、しばらく休憩いたします。

午後 1時52分 休憩

午後 1時53分 再開

○高部教育長 休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

午後 1時53分 秘密会開会

午後 1時56分 秘密会終了

○高部教育長 以上をもちまして、平成28年第8回教育委員会定例会を閉会いたしま

す。ありがとうございました。

午後 1時56分 閉会